

オプトアウト用文書

患者さんへ

【研究課題】

片頭痛患者に高頻度で合併する食いしばりの統計結果と臨床的意味の検討

1. 研究の対象者となるかた

2024 年 3 月から 5 月の間に佐渡病院神経内科を受診して片頭痛と診断されたかた

2. 研究の目的・方法

上記の患者さんのうち、食いしばりの自覚があるかた、触診で咬筋や側頭筋に圧痛を認めるかたがどのくらいの頻度でおられるのかを診療録の記載内容から明らかにします。

これらのデータは匿名化といって、個人が明らかにならない形で分析を行います。

この研究のために新たなデータの収集や検査を依頼することはありません。

なおこの研究は佐渡総合病院の倫理委員会の承認を受け、病院長の許可を得たうえで実施しております。

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、既往歴、検査データ、年齢、性別などであり生年月日や診療録番号、住所、氏名など個人の特定がただちにおこなえるような情報は用いておりません。

収集した情報は解析する前に氏名、患者 ID などの個人を特定しうる情報を削除して新たに番号や記号を付与してどなたのものかわからないようにします（匿名化）。

そのうえでパスコードロックのかかる個人情報漏洩対策をほどこした本研究専用の USB メモリに保管します。診療録番号と新たに付与した番号や記号の対応表は別途

パスコードロックのかかった USB メモリに保存し、院内で管理します。

4. 外部への情報提供について

現時点で外部への情報提供予定はありませんが、こまかな解析が必要になった際に、匿名化したまま情報提供する可能性があります。